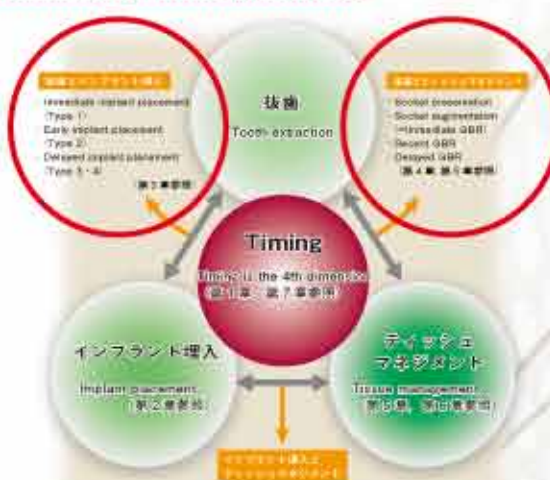


歯周治療学をベースにし、
歯周外科・インプラント治療の最前線を突き進む、
いま乗りに乗っている著者たちが贈る渾身の一冊!

▶▶▶ 症例で4-Dコンセプトを学ぶ



1は抜歯即時埋入の分類 Class1
⇒フラップレス埋入
2は抜歯即時埋入の分類 Class3
⇒GBRを併用



1は骨縁まで削合し2か月間治療を行った後、
結合組織によりRoot submergenceを行った。



4-Dコンセプト インプラントセラピー

審美治療のためのティッシュマナジメントのテクニックとタイミング

船登 彰芳/石川 知弘 著

4-D CONCEPT

審美インプラント治療を実現するためには

従来のインプラント治療の三次元的考察(近遠心的位置・頬舌的位置・深度&長軸方向)に加え、

「Timing」を考慮する必要がある。

「抜歯」「インプラント埋入」「ティッシュマナジメント」をいつ、どのTimingで行えば審美的結果を得られるのか、

多くの文献、臨床ケースとともに、そのすべてを網羅した一冊。

注文書 4-Dコンセプトインプラントセラピー

審美治療のためのティッシュマナジメントのテクニックとタイミング

冊注文します。

●お名前

●ご住所 (〒)

●TEL

●FAX

●ご指定納入店

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。

2006-10

●サイズ:A4判変型 ●216ページ ●定価:13,650円(本体13,000円・税5%)



クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL 03-5842-2272 (営業) FAX 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp

「4-D」=「3-D (インプラントの近遠心的位置・頬舌的位置・深度&長軸方向)」 + 「Timing」

CONTENTS

CHAPTER1 4-Dコンセプト&戦略

4-D Concept & Strategy

真の補綴主導型インプラント治療とは

The 4-D Concept for Esthetics Implant Therapyとは
4-Dを具現化したケース

CHAPTER2 三次元的埋入位置と周囲組織の三次元的考察

3-Dimensional Implant Placement & Consideration

三次元的埋入位置と周囲組織の三次元的考察

1. 近遠心的埋入位置とその考察
2. 頬舌的位置および唇側部の考察
3. 深度および長軸方向への考察

失敗ケースから学ぶ

CHAPTER3 審美領域における抜歯即時埋入の適応症と分類

Indication & Classification of Immediate Implant Placement in Esthetic Region

抜歯とインプラント埋入時期の分類、抜歯即時埋入の対象歯

抜歯即時埋入の予知性について

文献からみる抜歯後の治癒変化と抜歯高保存の可能性

抜歯即時埋入における矯正の抽出の重要性

抜歯即時埋入の分類 (Funato, Maurice, Ishikawaらの分類)

4-Dコンセプトに基づいた戦略的抜歯即時埋入

失敗ケースから学ぶ

CHAPTER4 審美領域における歯槽堤保存とRoot submergence technique

Socket Preservation Technique in Esthetic Region and Root Submergence Technique

文献からみる抜歯高保存の可能性

審美領域における抜歯高保存の手法

GBRの前処置としての抜歯高保存の意義

抜歯高保存の問題点

Root submergence technique: ポンティック部での新しい歯槽堤増大の試み

1. ポンティックの有効性 / 2. Root submergenceに関する過去の報告より

失敗ケースから学ぶ

CHAPTER5 4-Dコンセプトにおける歯槽堤増大

Ridge Augmentation in 4-D Concept

歯槽堤増大の必要性

歯槽堤増大のオプション

4-Dコンセプトを考慮したGBRの目的

歯槽堤増大のタイミング

4-Dコンセプトを考慮したGBRの目標

1. 臼歯部におけるGBR: インプラント適応症の拡大、清浄性の獲得

2. 前歯部におけるGBR: 審美性の獲得

4-Dコンセプトを考慮したGBRの実践

マテリアルについての考察

1. 膜 (メンブレン) / 2. 移植材についての考察

新しいGBR法の提案

1. チタンフレームワークとクロスリンクコラーゲン膜、骨移植 (自家骨+異種骨) によるGBR

チタンメッシュの応用

FTwing

1. staged approachでのチタンメッシュの使用

失敗ケースから学ぶ



抜歯とインプラント埋入

- Immediate implant placement (Type 1)
- Early implant placement (Type 2)
- Delayed implant placement (Type 3・4)

(第3章参照)



抜歯とティッシュマネジメント

- Socket preservation
- Socket augmentation (=immediate GBR)
- Recent GBR
- Delayed GBR (第4章, 第5章参照)



インプラント埋入

Implant placement
(第2章参照)



ティッシュ
マネジメント

Tissue management
(第5章, 第6章参照)



インプラント埋入と
ティッシュマネジメント

- Simultaneous approach
- Staged approach



著者紹介



船登 彰芳 (ふなと・あきよし)

1987年 広島大学歯学部卒業
1991年 石川県羽咋市にて開業
1998年 石川県金沢市にて移転開業
現在、日本臨床歯周病学会指導医、日本歯周病学会会員、
OJ 常任理事、AAP 会員、AO Active member, 他。



石川 知弘 (いしかわ・ともひろ)

1988年 広島大学歯学部卒業、同口腔外科第一講座入局
1996年 静岡県浜松市にて開業
現在、日本臨床歯周病学会指導医、日本歯周病学会会員、
OJ 常任理事、日本口腔インプラント学会会員、AAP 会員、
AO Active member, 他。

CHAPTER6 審美領域における軟組織マネジメントのタイミングと実際

Timing & Practice of Soft Tissue Management in Esthetic Region

インプラント周囲軟組織の特徴

インプラント周囲軟組織のマネジメントの目的

単歯欠損 vs 多数歯欠損

4-Dコンセプトに基づいた軟組織増大のタイミング

4-Dコンセプトにおける軟組織増大の推奨される術式と目的とその適応

root technique envelope technique flap technique

interpositional graft pedicle connective tissue graft

lateral positioned flap lateral positioned flap + interpositional graft

limited punch out

CHAPTER7 少数歯・多数歯欠損症例における4-Dコンセプトに基づいた治療計画

Treatment Planning for Single or Multiple Case in 4-D Concept

4-Dコンセプトに基づいたインプラント治療における戦略と原則

少数歯欠損における4-Dコンセプトに基づいた審美インプラント治療

1. インプラント埋入予定部位についての考察

2. 残存歯インプラント側 (欠損側) の歯槽骨頂の評価

多数歯欠損における4-Dコンセプトに基づいた審美インプラント治療

治療のゴールの設定

審美エリアにおける予知性の高い段階的なインプラント周囲組織のマネジメント

4-Dコンセプトに基づいた多数歯欠損に対する治療手順とその手法

CHAPTER8 イラストで学ぶ4-Dコンセプトのテクニック

Learning The Technique of 4-D Concept Using Illustrations

前歯部半独立欠損への対応 [1]

前歯部半独立欠損への対応 [2]

多数歯欠損への対応

多数歯欠損における軟組織の増大

Recommend Instruments

